

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2011年8月31日）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。  コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）  インドの市場で上場または取引されている株式  マネー・マーケット・マザーファンド  円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■インドの中型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■インドの代表的な総合金融グループの一つであるコタック・マヒンドラ・グループが実質的な運用を行います。 ■原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年4回（原則として毎年2月、5月、8月、11月の27日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

# 高成長インド・中型株式ファンド

## 【運用報告書（全体版）】

第28作成期（2025年2月28日から2025年8月27日まで）

第55期 / 第56期

第55期：決算日 2025年5月27日

第56期：決算日 2025年8月27日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## 高成長インド・中型株式ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近10期の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額		公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		税込分配金	期中騰落率			
47期(2023年5月29日)	円 10,496	円 300	% 8.7	% 0.0	% 96.4	百万円 126,105
48期(2023年8月28日)	11,574	200	12.2	0.0	97.7	212,862
49期(2023年11月27日)	12,037	200	5.7	0.0	97.0	232,152
50期(2024年2月27日)	13,271	200	11.9	0.0	96.2	247,279
51期(2024年5月27日)	14,588	200	11.4	0.0	96.1	260,701
52期(2024年8月27日)	14,484	200	0.7	0.0	96.8	245,877
53期(2024年11月27日)	14,922	200	4.4	0.0	96.9	235,557
54期(2025年2月27日)	12,250	200	△16.6	0.0	97.2	179,536
55期(2025年5月27日)	12,879	200	6.8	0.0	96.2	177,550
56期(2025年8月27日)	13,027	200	2.7	0.0	96.8	183,889

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指數がないため、ベンチマークおよび参考指數はありません。

### ■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
			騰落率		
第55期	(期首) 2025年2月27日	円 12,250	% —	% 0.0	% 97.2
	2月末	12,214	△0.3	0.0	96.6
	3月末	12,965	5.8	0.0	97.1
	4月末	12,611	2.9	0.0	97.9
	(期末) 2025年5月27日	13,079	6.8	0.0	96.2
第56期	(期首) 2025年5月27日	12,879	—	0.0	96.2
	5月末	12,986	0.8	0.0	97.1
	6月末	13,451	4.4	0.0	97.0
	7月末	13,468	4.6	0.0	96.8
	(期末) 2025年8月27日	13,227	2.7	0.0	96.8

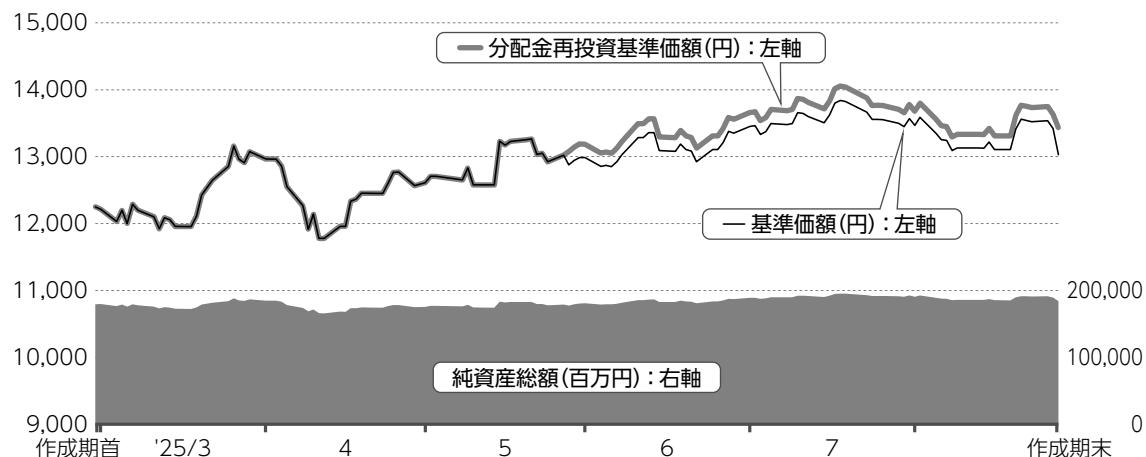
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

**作成期首** 12,250円

**作成期末** 13,027円  
(当作成期既払分配金400円(税引前))

**騰 落 率** +9.7%  
(分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 高成長インド・中型株式ファンド

### 基準価額の主な変動要因(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの取引所に上場している中型株式等に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

#### 上昇要因

- 4月初めの米トランプ政権の相互関税の発表などで急落した局面はあったものの、期初から7月中旬にかけて、ファンダメンタルズ(基礎的条件)の改善やRBI(インド準備銀行)の利下げなどを背景にインド中型株式市場が上昇したこと

#### 下落要因

- 米印の関税交渉が進展せず、米国のインドに対する高関税が課せられたことなどから、7月下旬から期末にかけて、インド中型株式市場が軟調となったこと
- 期を通じて見ると、インドルピーが円に対して下落したこと

### 投資環境について(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

インド株式市場は上昇しました。また期を通じて見ると、インドルピーは対円で下落しました。

#### 株式市場

インド株式市場は、上昇しました。期初からファンダメンタルズの改善期待で、株式市場は堅調な推移となりました。4月初めには米トランプ大統領の相互関税の発表で急落する局面はあったものの、米印の関税問題は早期合意に対する期待が強く、インド株式市場は上昇基調が継続しました。また、RBIが予防的に政策金利を大きく引き下げたことや、インフレ上昇率が低位で安定していることも相場を下支えしました。しかしながら、米印の関税交渉は合意に至らず高関税が課されたことに加え、ロシア原油の輸入に対する制裁的な関税も付加されたことで、ファンダメンタルズの先行き懸念なども強まり、7月下旬から期末にかけてインド株式市場は軟調に推移しました。

#### 為替市場

米ドル・円は、4月は米国の相互関税の発表を受けた米金利低下や米国からの資金流出懸念などを背景に、米ドル安・円高が進行しましたが、その後は米国の関税政策の緩和や合意などを受け、米ドル高・円安の動きとなりました。期を通じて見ると、小幅な米ドル安・円高となりました。一方、米ドル・インドルピーは、期初から5月上旬にかけては、インドルピーが強含んだものの、米印の関税交渉の進展がなく、高関税が発表されると米ドル高・インドルピー安の動きとなりました。結果として、期を通じて見ると、インドルピーは円に対して下落しました。

### ポートフォリオについて(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

#### 当ファンド

期を通じて、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)」を高位に組み入れました。

#### コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)

##### ●株式組入比率

期を通じて、中長期で魅力的と判断する銘

## 高成長インド・中型株式ファンド

柄を組み入れることで、株式組入比率を高位に維持しました。

### ●業種配分

期を通じて、一般消費財・サービス、情報技術、ヘルスケアなどの組入比率を相対的に高く維持した一方、エネルギー、通信・サービス、公益などは低位の組み入れとしました。

### ●個別銘柄

運用会社のHDFCアセットマネジメント、クレジットカード会社のSBIカーズ・アンド・ペイメント・サービスズ、証券会社の工

ンジエル・ワンなど金融セクターの銘柄や、スーパーマーケットのアベニュー・スーパー・マーツ、石油製品の精製、販売、流通を手がけているヒンドゥスタン石油などを新規購入する一方、業績見通しに懸念が強まったと判断した銘柄を売却しました。

## マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

ベンチマークおよび参考指標を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 分配金について(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第55期	第56期
当期分配金	200	200
(対基準価額比率)	(1.53%)	(1.51%)
当期の収益	40	32
当期の収益以外	159	167
翌期繰越分配対象額	4,535	4,276

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

## 2 今後の運用方針

---

### 当ファンド

引き続き、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)」を高位に組み入れて運用を行います。

---

### コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)

足元のインド株式市場は、不透明感の強い米印の通商交渉により、上値の重い展開となっています。短期的には、米国との通商摩擦や為替の変動により市場の不安定な推移が

続く可能性がありますが、中長期的には、堅調な投資動向と消費主導の拡大を背景に、インドのマクロ経済は引き続き良好な基調を維持すると見込まれます。当ファンドでは、構造的成長が期待される分野に注目し、ファンダメンタルズを重視した中型株への選別投資を継続します。

---

### マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(適用日：2025年4月1日)
- 「高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)」との合計で4,000億円としていた信託金限度額を合計6,000億円へ引き上げる信託約款の変更を行いました。  
(適用日：2025年5月23日)

## 高成長インド・中型株式ファンド

### 1万口当たりの費用明細(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	74円	0.575%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は12,935円です。
(投信会社)	(23)	(0.177)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(49)	(0.382)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファン
(受託会社)	(2)	(0.016)	ドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図
(b) 売買委託手数料	—	—	売買委託手数料=期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	有価証券取引税=期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.000	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(—)	(—)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(—)	(—)	その他の費用
合計	74	0.576	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

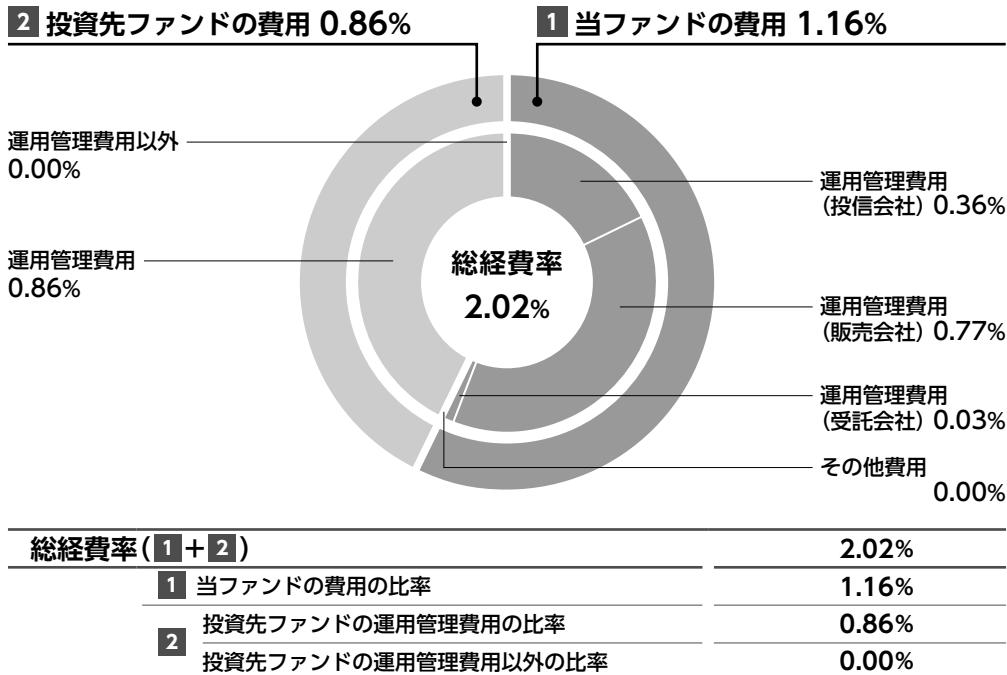
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※ ①の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ ②の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ ①と②の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当形成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.02%です。

## 高成長インド・中型株式ファンド

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)	口 73,898	千円 5,242,000	口 263,869	千円 17,964,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

### ■ 利害関係人との取引状況等(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年2月28日から2025年8月27日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細(2025年8月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作成期首		作 成 期 末		組 入 比 率
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率	
コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)	口 2,688,261.2407	口 2,498,290.4009	千円 178,021,801	% 96.8	
合 計	2,688,261.2407	2,498,290.4009	178,021,801	96.8	

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種 類	作成期首		作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	千円
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 17,711	千口 17,711	17,711	17,718

※マネー・マーケット・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は1,207,872,716口です。

# 高成長インド・中型株式ファンド

## ■投資信託財産の構成

(2025年8月27日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
投 資 証 券	千円 178,021,801	% 94.7
マネー・マーケット・マザーファンド	17,718	0.0
コール・ローン等、その他	9,862,074	5.2
投 資 信 託 財 産 総 額	187,901,594	100.0

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年5月27日) (2025年8月27日)

項目	第55期末	第56期末
<b>(A) 資 産</b>	<b>181,525,298,672円</b>	<b>187,901,594,720円</b>
コール・ローン等	10,630,890,804	9,862,074,926
投資証券(評価額)	170,876,705,592	178,021,801,578
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	17,702,276	17,718,216
<b>(B) 負 債</b>	<b>3,974,563,534</b>	<b>4,011,646,566</b>
未払収益分配金	2,757,271,562	2,823,247,099
未払解約金	714,645,801	639,521,658
未払信託報酬	502,288,671	548,520,309
その他未払費用	357,500	357,500
<b>(C) 純 資 産 総 額(A-B)</b>	<b>177,550,735,138</b>	<b>183,889,948,154</b>
元 本	137,863,578,125	141,162,354,953
次期繰越損益金	39,687,157,013	42,727,593,201
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>137,863,578,125口</b>	<b>141,162,354,953口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	12,879円	13,027円

※当作成期における作成期首元本額146,565,291,781円、作成期中追加設定元本額12,718,546,429円、作成期中一部解約元本額18,121,483,257円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■損益の状況

(自2025年2月28日) (自2025年5月28日)  
(至2025年5月27日) (至2025年8月27日)

項目	第55期	第56期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>576,246,122円</b>	<b>515,474,994円</b>
受取配当金	570,145,163	507,470,564
受取利息	6,100,959	8,004,430
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>11,266,128,033</b>	<b>4,510,501,627</b>
売買益	11,613,701,955	4,816,894,834
売買損	△347,573,922	△306,393,207
<b>(C) 信 託 報 酬 等</b>	<b>△502,646,171</b>	<b>△548,877,809</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>11,339,727,984</b>	<b>4,477,098,812</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>17,614,630,108</b>	<b>24,872,490,949</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>13,490,070,483</b>	<b>16,201,250,539</b>
(配当等相当額)	(11,304,669,139)	(15,277,155,905)
(売買損益相当額)	(2,185,401,344)	(924,094,634)
<b>(G) 合 計 (D+E+F)</b>	<b>42,444,428,575</b>	<b>45,550,840,300</b>
<b>(H) 収 益 分 配 金</b>	<b>△2,757,271,562</b>	<b>△2,823,247,099</b>
次期繰越損益金(G+H)	39,687,157,013	42,727,593,201
追加信託差損益金	13,490,070,483	16,201,250,539
(配当等相当額)	(11,304,669,150)	(15,277,156,069)
(売買損益相当額)	(2,185,401,333)	(924,094,470)
分配準備積立金	49,037,306,357	44,171,390,403
繰越損益金	△22,840,219,827	△17,645,047,741

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれております。公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金があるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第55期	第56期
(a) 経費控除後の配当等収益	551,780,919円	459,177,696円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	13,490,070,483	16,201,250,539
(d) 分配準備積立金	51,242,797,000	46,535,459,806
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	65,284,648,402	63,195,888,041
1万口当たり当期分配対象額	4,735,45	4,476,82
(f) 分配金	2,757,271,562	2,823,247,099
1万口当たり分配金	200	200

## 高成長インド・中型株式ファンド

### ■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第55期	第56期
	200円	200円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## 高成長インド・中型株式ファンド

### ■組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）
形態	ルクセンブルグ籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象*	インドの市場で上場または取引されている株式を主要投資対象とします。
運用の基本方針*	主としてインドの中型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、大型株式へ投資することがあります。原則として対円での為替ヘッジは行いません。
主な投資制限	●同一発行体の有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ●有価証券の空売りは行いません。 ●純資産総額の10%を超える借入れを行いません。
分配方針	毎年2月、5月、8月、11月の10日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	純資産総額に対して 運用報酬                年0.75%程度 管理費用                年0.05%程度 保管費用                年0.04%程度 事務代行費用          年0.05%程度 ※また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の各料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却額の差額が、ファンドの時価総額に対して一定の割合を超過する場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整され、ファンドの基準価額に反映されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

\*従来、「インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」への投資を通じてインドの中型株式等に投資する形態を取っていましたが、インドとモーリシャスの租税条約改正を受け、2025年3月現在、新規投資は「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）」が直接インドの中型株式等に投資する方針となっています。

## 高成長インド・中型株式ファンド

(コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）を通じて保有)

ファンド名	インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（米ドル建て）
主要投資対象	インドの市場で上場または取引されている株式を主要投資対象とします。
運用の基本方針	主としてインドの中型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、大型株式へ投資することがあります。原則として対円での為替ヘッジは行いません。
主な投資制限	●有価証券の空売りは行いません。 ●純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ●同一発行体の有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の10%以内とします。
分配方針	分配は行いません。
運用管理費用	ありません。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

\*インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッドは、保有株式がすべて売却された後に清算される予定です。

## 高成長インド・中型株式ファンド

以下には、「コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）」をシェアクラスとして含む「コタック・ファンズ－インディア・ミッドキャップ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

### ■ 損益計算書(2024年12月31日に終了した期間)

(単位：米ドル)

#### 収益

配当収益(源泉税控除後)	24,829,395
銀行預金受取利息	3,242,140
収益合計	28,071,535

#### 費用

投資運用報酬	35,009,530
管理事務代行・保管報酬	1,457,653
監査報酬および専門家報酬	716,162
管理会社報酬	1,326,383
年次税	1,685,000
取引手数料	32,758
役員報酬	28,274
その他費用	112,301
費用合計	40,368,061
投資純損益	(12,296,526)

#### 実現純損益：

- 投資ポートフォリオ	565,847,507
- 先物契約	2,781,713
- 外国為替取引	(55,681,383)
- キャピタル・ゲイン税	(161,456,064)
実現純損益	351,491,773

#### 未実現損益の純変動額：

- 投資ポートフォリオ	408,363,233
- 先物契約	(264,081)
- 外国為替取引	(167,896)
未実現損益の純変動額	407,931,256
営業損益	747,126,503

## 高成長インド・中型株式ファンド

### ■ 投資明細表(2024年12月31日現在)

株数/額面	銘柄名	時価 (単位:米ドル)	純資産構成比 (%)
公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品			
<b>株式</b>			
<b>インド</b>			
1,000,000	Alkem Laboratories	65,806,979	1.68
1,540,000	Apollo Hospitals Enterprise	131,246,944	3.36
9,163,867	Apollo Tyres	56,666,389	1.45
13,212,733	Ashok Leyland	34,030,166	0.87
329,545	Atul	26,790,676	0.69
5,300,000	AU Small Finance Bank	34,612,119	0.89
2,200,000	Axis Bank	27,359,790	0.70
1,626,721	Balkrishna Industries	55,294,738	1.41
2,956,719	Bharti Hexacom	50,315,595	1.29
6,175,745	Birlasoft	40,421,419	1.03
4,478,815	BrainBees Solutions	34,111,973	0.87
4,967,314	Brigade Enterprises	72,119,974	1.84
3,955,799	Carborundum Universal	59,127,326	1.51
897,590	Cello World	7,932,971	0.20
4,450,000	Cholamandalam Investment & Finance	61,643,773	1.58
14,600,000	City Union Bank	29,388,442	0.75
3,376,377	Container Corp. Of India	31,077,063	0.79
1,545,328	Coromandel International	33,933,589	0.87
11,700,000	Crompton Greaves Consumer Electricals	54,090,933	1.38
2,916,585	Cummins India	111,536,274	2.85
7,086,413	Dabur India	41,965,968	1.07
609,650	Dixon Technologies India	127,725,102	3.27
3,485,560	Emami	24,458,463	0.63
6,499,158	Exide Industries	31,621,834	0.81
25,500,000	Federal Bank	59,576,697	1.52
9,559,198	Fortis Healthcare	80,375,981	2.06

## 高成長インド・中型株式ファンド

株数/額面	銘柄名	時価 (単位:米ドル)	純資産構成比 (%)
公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品			
株式(続き)			
インド(続き)			
1,979,148	GE Vernova T&D India	47,989,643	1.23
60,425	Honeywell Automation India	29,612,432	0.76
3,405,277	Ipcra Laboratories	67,427,368	1.72
3,053,986	Jindal Steel & Power	33,200,114	0.85
1,061,482	JK Cement	56,976,895	1.46
3,917,537	JK Tyre & Industries	17,779,635	0.45
5,966,565	Jubilant Foodworks	50,046,317	1.28
2,876,612	Kajaria Ceramics	38,941,153	1.00
104,451	KEI Industries	5,412,907	0.14
7,471,471	Laurus Labs	52,598,109	1.35
3,282,361	Mahindra Lifespace Developers	17,770,470	0.45
2,084,881	Mankind Pharma	70,145,028	1.79
4,585,812	Max Financial Services	59,665,773	1.53
10,331,746	Max Healthcare Institute	136,145,531	3.48
2,007,437	Metro Brands	28,532,629	0.73
7,273,816	Minda	41,588,938	1.06
31,028,419	Motherson Sumi Wiring India	21,107,842	0.54
2,150,000	Mphasis	71,502,176	1.83
9,000	MRF	13,732,967	0.35
416,445	Navin Fluorine International	15,788,549	0.40
1,900,000	Oberoi Realty	51,299,168	1.31
4,200,000	PB Fintech	103,456,505	2.65
1,683,756	Persistent Systems	127,004,715	3.25
924,118	PI Industries	39,783,624	1.02
13,137,301	Power Finance	68,822,654	1.76
242,798	Premier Energies	3,837,407	0.10

## 高成長インド・中型株式ファンド

株数/額面	銘柄名	時価 (単位:米ドル)	純資産構成比 (%)
公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品			
<b>株式(続き)</b>			
<b>インド(続き)</b>			
1,154,530	Rolex Rings	24,803,937	0.63
549,617	SAI Life Sciences	4,822,570	0.12
46,277,158	Samvardhana Motherson International	84,389,428	2.16
3,239,994	Sansera Engineering	56,383,181	1.44
11,539,165	Sapphire Foods India	44,411,212	1.14
1,678,963	Schaeffler India	66,791,791	1.71
2,219,147	Sheela Foam	25,701,798	0.66
4,370,000	Shriram Finance	147,473,622	3.77
580,000	SKF India	30,339,191	0.78
1,950,000	SRF	50,973,894	1.30
2,779,488	Sundram Fasteners	34,387,895	0.88
1,388,967	Supreme Industries	76,261,163	1.95
342,384	Swiggy	2,163,183	0.06
4,075,000	Syngene International	40,860,666	1.04
4,777,737	Tech Mahindra	95,217,110	2.43
1,681,733	Thermax	79,355,011	2.03
1,543,797	Torrent Pharmaceuticals	60,589,693	1.55
3,128,636	TVS Motor	86,554,818	2.21
1,760,000	United Breweries	41,876,128	1.07
4,248,191	United Spirits	80,656,704	2.06
2,176,579	Vedant Fashions	32,787,562	0.84
6,453,338	V-Guard Industries	31,847,397	0.81
3,250,000	Voltas	67,949,628	1.74
50,320,000	Zomato	163,427,957	4.18
<b>株式合計</b>		<b>4,083,425,266</b>	<b>104.42</b>

## 高成長インド・中型株式ファンド

	時価 (単位：米ドル)	純資産構成比 (%)
公認の証券取引所に上場されている、もしくは 他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価 証券および短期金融商品合計	4,083,425,266	104.42
投資合計	4,083,425,266	104.42
その他純資産および負債	(172,757,172)	(4.42)
純資産価値	3,910,668,094	100.00

## 高成長インド・中型株式ファンド

以下には、「インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

### ■ 包括利益計算書(2024年12月31日に終了した期間)

(単位：米ドル)

#### 収益

配当収益	1,177,715
為替差益	4,449
損益を通じて公正価値で測定される金融資産からの純損益	30,698,937
その他収益	83,257
収益合計	<hr/> 31,964,358

#### 費用

管理事務代行および保管報酬	29,872
監査報酬	9,000
営業費用合計	<hr/> 38,872

#### 税引前損益

法人税等	(778,746)
償還可能普通株式保有者に帰属する純資産の増減額	<hr/> 31,146,740

# マネー・マーケット・マザーファンド

第14期（2024年3月2日から2025年3月3日まで）

信託期間	無期限（設定日：2011年5月31日）
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		公社債組入比率	純資産額
		円	%		
10期(2021年3月1日)	10,002		△0.1	75.9	76
11期(2022年3月1日)	9,994		△0.1	76.0	76
12期(2023年3月1日)	9,991		△0.0	74.7	76
13期(2024年3月1日)	9,986		△0.1	74.7	76
14期(2025年3月3日)	9,987		0.0	98.2	1,206

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

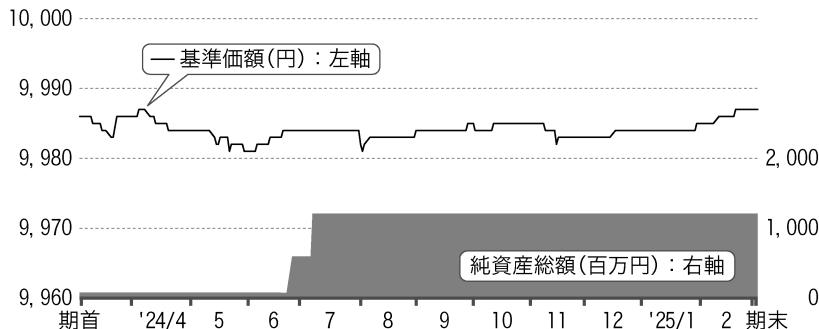
年月日	基準価額	期中騰落率		公社債組入比率	純資産額
		騰落率	%		
(期首) 2024年3月1日	円 9,986		—		74.7
3月末	9,986	0.0		74.6	
4月末	9,984	△0.0		74.6	
5月末	9,981	△0.1		74.5	
6月末	9,984	△0.0		97.0	
7月末	9,982	△0.0		98.5	
8月末	9,984	△0.0		98.6	
9月末	9,985	△0.0		98.4	
10月末	9,985	△0.0		98.4	
11月末	9,983	△0.0		98.4	
12月末	9,984	△0.0		98.2	
2025年1月末	9,985	△0.0		98.2	
2月末	9,987	0.0		98.2	
(期末) 2025年3月3日	9,987	0.0		98.2	

※騰落率は期首比です。

## ① 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

#### 基準価額等の推移



### ▶ 基準価額の主な変動要因(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 上昇要因

- ・日銀が2024年3月にマイナス金利政策を解除し、7月や2025年1月に追加利上げを行ったことを受け、短期公社債や短期金融商品の利回りが上昇したこと

### ▶ 投資環境について(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

短期金利は上昇しました。

円安進行などの影響から物価上昇率が高止まりし、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+2%以上での推移となりました。日銀は物価目標の実現が見通せる状況に至ったと判断し、2024年3月に開催された金融政策決定会合で、日銀当座預金付利金利を0.1%に引き上げることで無担保コール翌日物金利を0~0.1%程度で推移するよう促すことを決定しました。さらに、7月の金融政策決定会合で追加利上げを決定し、無担保コール翌日物の誘導目標を0.25%

程度としました。2025年1月の金融政策決定会合でも追加利上げを決定し、無担保コール翌日物の誘導目標を0.50%程度まで引き上げました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初にマイナス圏で始まった後、日銀によるマイナス金利政策解除後はプラス圏に上昇しました。また、7月の追加利上げ後には利回りはさらに上昇しました。その後は、日銀の資金供給オペの担保として国庫短期証券へのニーズが強まる一方、発行額が段階的に減額されたことから、利回りの上昇幅が縮小しました。しかし、11月以降は追加利上げ観測が高まり、実際に日銀が1月に追加利上げを決定したことから、期末にかけて利回りは上昇基調となりました。

---

#### ▶ ポートフォリオについて(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

---

残存1年3ヵ月までの円建ての公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、短期公社債や短期金融商品の利回りがプラスに転じたことから、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

---

#### ▶ ベンチマークとの差異について(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## ② 今後の運用方針

国内景気は、賃金上昇による消費の下支えや堅調な設備投資意欲、海外経済の底堅さを背景に、緩やかな成長軌道が続く見通しです。CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率は、コストプッシュ圧力の減衰が見込まれる一方で賃金上昇に伴いサービス価格が上昇することにより、+2%程度の伸び率を維持できる見通しです。物価安定の目標達成が視野に入り、上振れリスクも意識される中で日銀が利上げを継続する姿勢を示していることは金利の上昇要因ですが、短期市場での根強い資金運用ニーズが金利上昇を抑制する見込みです。

引き続き残存1年3ヵ月までの円建ての公社債および短期公社債で構築したポートフォリオを維持し、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行います。

## マネー・マーケット・マザーファンド

### ■ 1万口当たりの費用明細(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	0	0.000	

期中の平均基準価額は9,984円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

公社債

		買付額	売付額
国 内	国 債 証 券	千円 4,580,315	千円 — (3,425,000)
	特 殊 債 券	—	— (28,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

### ■ 利害関係人との取引状況等(2024年3月2日から2025年3月3日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公 社 債	百万円 4,580	百万円 11	% 0.3	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C 日興証券株式会社です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年3月2日から2025年3月3日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■組入れ資産の明細(2025年3月3日現在)

公社債

## A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区分	期			うちBB格以下 組入比率	末					
	額面金額	評価額	組入比率		残存期間別組入比率		5年以上	2年以上	2年末満	
					%	%				
国債証券	千円 1,185,400 (1,185,400)	千円 1,184,611 (1,184,611)	% 98.2 (98.2)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 98.2 (98.2)		
合計	1,185,400 (1,185,400)	1,184,611 (1,184,611)	98.2 (98.2)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	98.2 (98.2)		

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種類	銘柄	期末			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1226国庫短期証券 1286国庫短期証券 144 5年国債 1257国庫短期証券 1276国庫短期証券	% — — 0.1000 — —	千円 14,000 1,132,000 14,000 13,400 12,000	千円 13,994 1,131,315 13,988 13,366 11,947	2025/04/21 2025/05/12 2025/06/20 2025/09/22 2025/12/22
	小計	—	1,185,400	1,184,611	—
	合計	—	1,185,400	1,184,611	—

## ■投資信託財産の構成

(2025年3月3日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
公社債	千円 1,184,611	% 98.2
コール・ローン等、その他	21,710	1.8
投資信託財産総額	1,206,321	100.0

## マネー・マーケット・マザーファンド

### ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年3月3日現在)

項目	期末
(A) 資産	1,206,321,409円
コール・ローン等	21,707,340
公社債(評価額)	1,184,611,295
未収利息	2,774
(B) 純資産総額(A)	1,206,321,409
元本	1,207,872,716
次期繰越損益金	△ 1,551,307
(C) 受益権総口数	1,207,872,716口
1万口当たり基準価額(B/C)	9,987円

※当期における期首元本額76,632,575円、期中追加設定元本額1,133,894,244円、期中一部解約元本額2,654,103円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3ヶ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3ヶ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(限定為替ヘッジ)	1,237,272円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローバリング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円
フォントベル・世界創安債券ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	20,035円
フォントベル・世界創安債券ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	20,035円
フォントベル・世界創安債券ファンド(為替ヘッジあり/年4回決算型)	20,035円
フォントベル・世界創安債券ファンド(為替ヘッジなし/年4回決算型)	20,035円
トータルヘッジ用ファンドMUT 1号<適格機関投資家限定>	1,133,814,104円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■お知らせ

#### <約款変更について>

該当事項はございません。

### ■損益の状況

(自2024年3月2日 至2025年3月3日)

項目	当期
(A) 配当等収益	615,964円
受取利息	616,135
支払利息	△ 171
(B) 有価証券売買損益	△ 248,197
売買益	35,376
売買損	△ 283,573
(C) その他費用等	△ 187
(D) 当期損益金(A+B+C)	367,580
(E) 前期繰越損益金	△ 109,083
(F) 解約差損益金	4,440
(G) 追加信託差損益金	△ 1,814,244
(H) 合計(D+E+F+G)	△ 1,551,307
次期繰越損益金(H)	△ 1,551,307

※有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。